

OMS 無償トライアルのはじめかた

OMS無償トライアルについて(1)

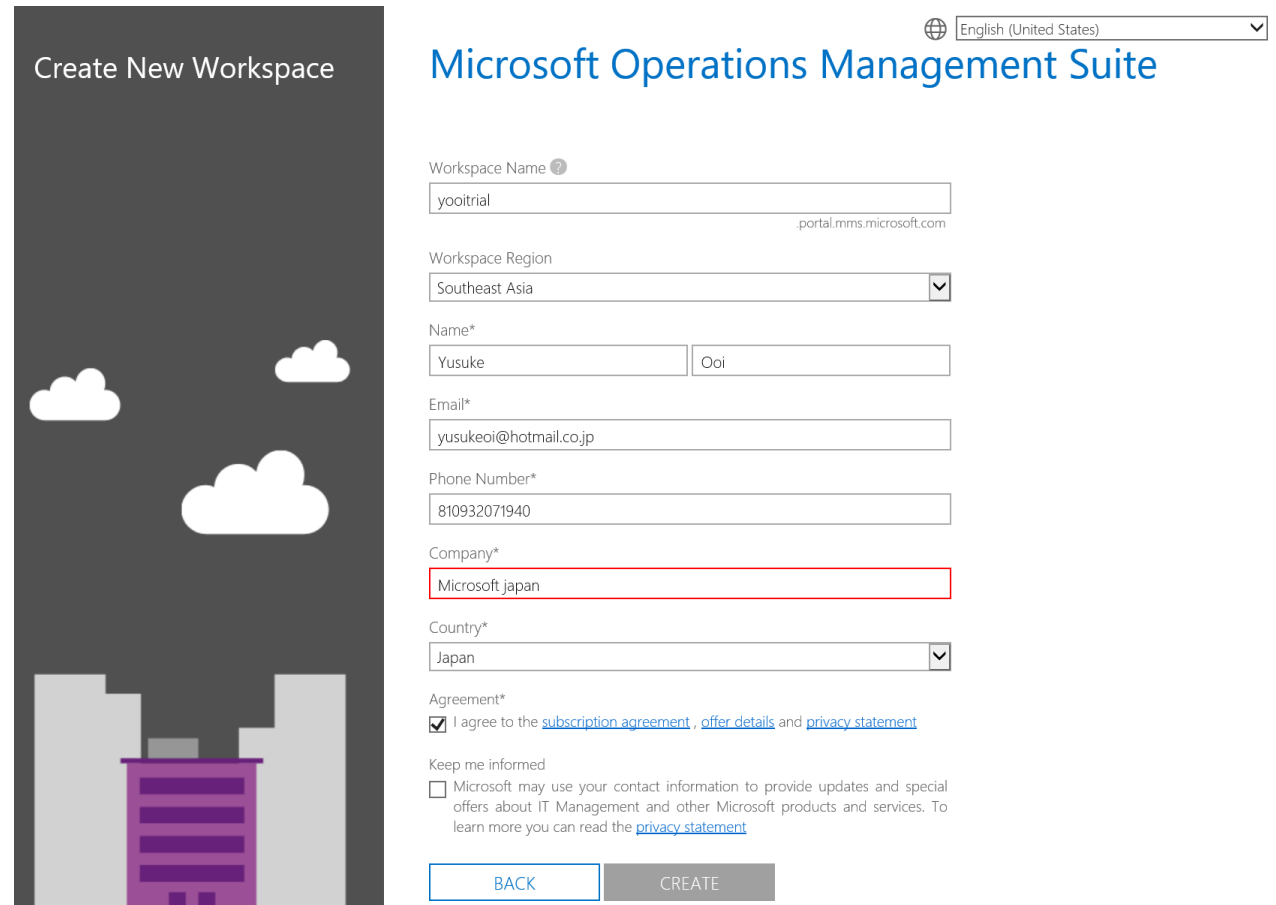
- ここでは、無料のOMSワークスペースを作成し、お客様所有のWindowsもしくはLinuxサーバーを接続する手順を紹介する。
 - サーバーは、オンプレミスのHyper-V仮想マシンでもVMware仮想マシンでも物理サーバーでも、もしくはAzure仮想マシンでもAWS EC2仮想マシンでも、何でも構わない。
- 無料のOMSワークスペースには、以下の制約がある。
 - データ保持期間は7日間。
 - 1日にアップロードできるデータ(ログなど)の量は500MBまで。それ以上はアップロードされない。
 - 接続できるノードは5台まで。

OMS無償トライアルについて(2)

- このOMS無償トライアルで利用できるのは、以下3つの機能である。
 - インサイト&分析
 - セキュリティ&監査
 - オートメーション&コントロール
- 保護&可用性、つまり Azure Backup および Azure Site Recovery の無償トライアルを実施したい場合は、以下の「Azure無料試用版」を申し込んだうえで、Azure ポータルから利用する。
 - <https://azure.microsoft.com/ja-jp/offers/ms-azr-0044p/>

無償OMSワークスペースの作成(1)

- https://login.mms.microsoft.com/signin.aspx?signUp=on&ref=ms_mms にブラウザでアクセスし、Microsoftアカウントでサインインする。うまくいかない場合は、Internet ExplorerのInPrivateブラウズを試す。
- 必要事項を入力し、CREATEボタンを押す。Workspace Region (OMSワークスペースを作成する場所)はどこでもよい。特に要件が無ければ、日本から最も近い東南アジア(Southeast Asia)にする。




The screenshot shows the 'Create New Workspace' page for the Microsoft Operations Management Suite. The page has a dark sidebar on the left with the title 'Create New Workspace' and a stylized illustration of a city skyline with clouds. The main content area is white and contains the following fields and options:

- Language:** A dropdown menu at the top right set to 'English (United States)'.
- Workspace Name:** A text input field containing 'yooitrial'. Below the field is the URL 'portal.mms.microsoft.com'.
- Workspace Region:** A dropdown menu set to 'Southeast Asia'.
- Name:** Two text input fields, the first containing 'Yusuke' and the second containing 'Ooi'.
- Email:** A text input field containing 'yusukeoi@hotmail.co.jp'.
- Phone Number:** A text input field containing '810932071940'.
- Company:** A text input field containing 'Microsoft japan', which is highlighted with a red border.
- Country:** A dropdown menu set to 'Japan'.
- Agreement:** A checkbox labeled 'I agree to the' followed by links to 'subscription agreement', 'offer details', and 'privacy statement'. The checkbox is checked.
- Keep me informed:** A checkbox labeled 'Microsoft may use your contact information to provide updates and special offers about IT Management and other Microsoft products and services. To learn more you can read the' followed by a link to 'privacy statement'. This checkbox is unchecked.
- Buttons:** At the bottom right, there are two buttons: 'BACK' (outlined in blue) and 'CREATE' (solid grey).

無償OMSワークスペースの作成(2)


- OMSワークスペースは何らかのAzureサブスクリプションに紐つけられる必要がある。すでにAzureサブスクリプションを持っている場合は、適切なものを選んで「LINK」を押す。
- Azureサブスクリプションを持っていない場合は、「CREATE NEW」を押して、無料試用版のAzureサブスクリプションを作成する。

Link Azure Subscription



English (United States)

Microsoft Operations Management Suite



Operations Management Suite workspace needs to be associated with your organization's Azure subscription. If not, you can always create a free Azure subscription by clicking "CREATE NEW" button below. Note that your existing data or payment plan won't be affected.


Select Azure directory

Yusuke Ooi

APPLY

Select Azure Subscription


MSDN(yooi)



LINK

CREATE NEW

BACK

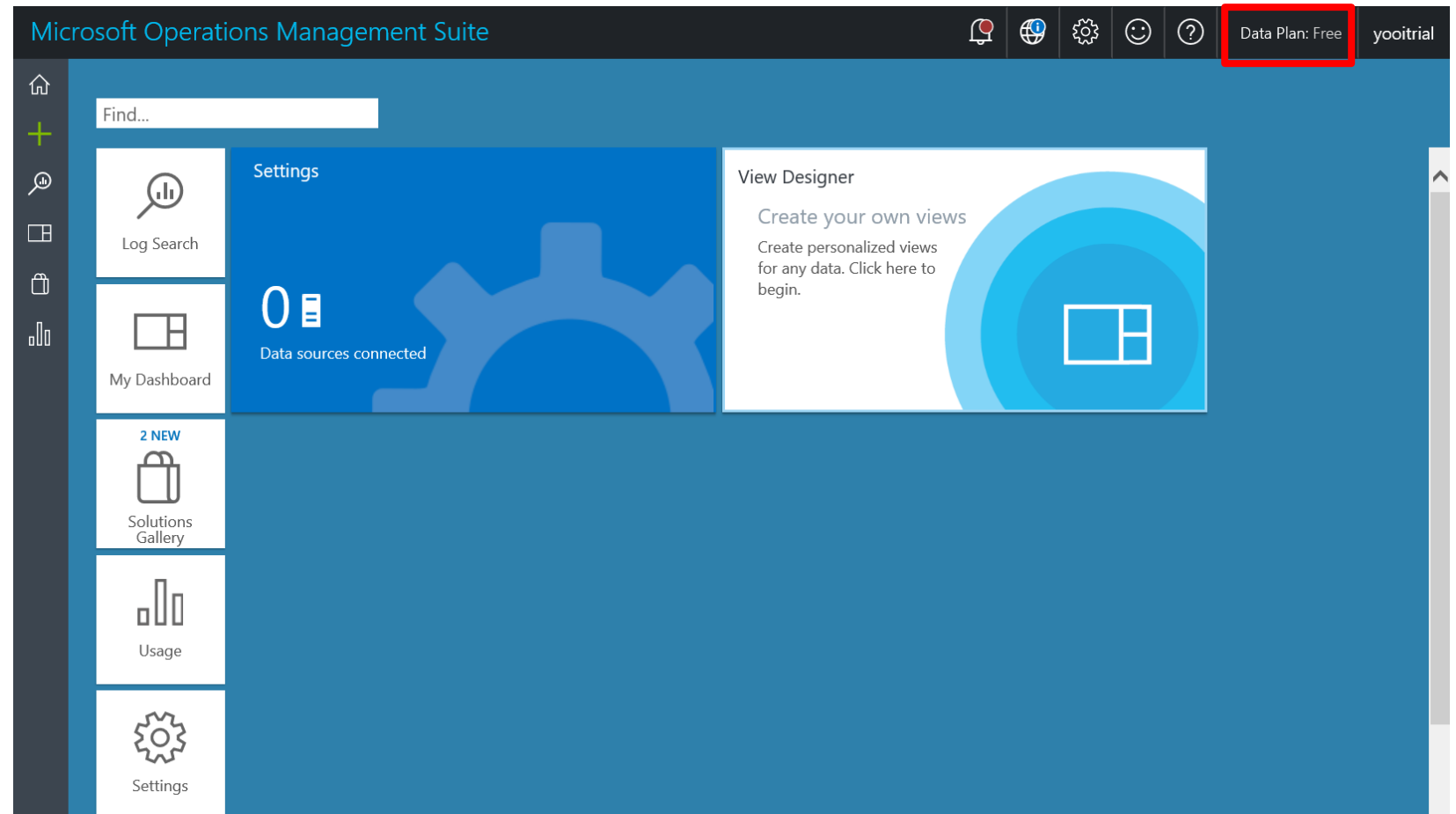


NOTE:

If your organization already has an Azure subscription that you want to use, you will need your organizations Azure administrator to grant access. [Learn how to grant access](#)

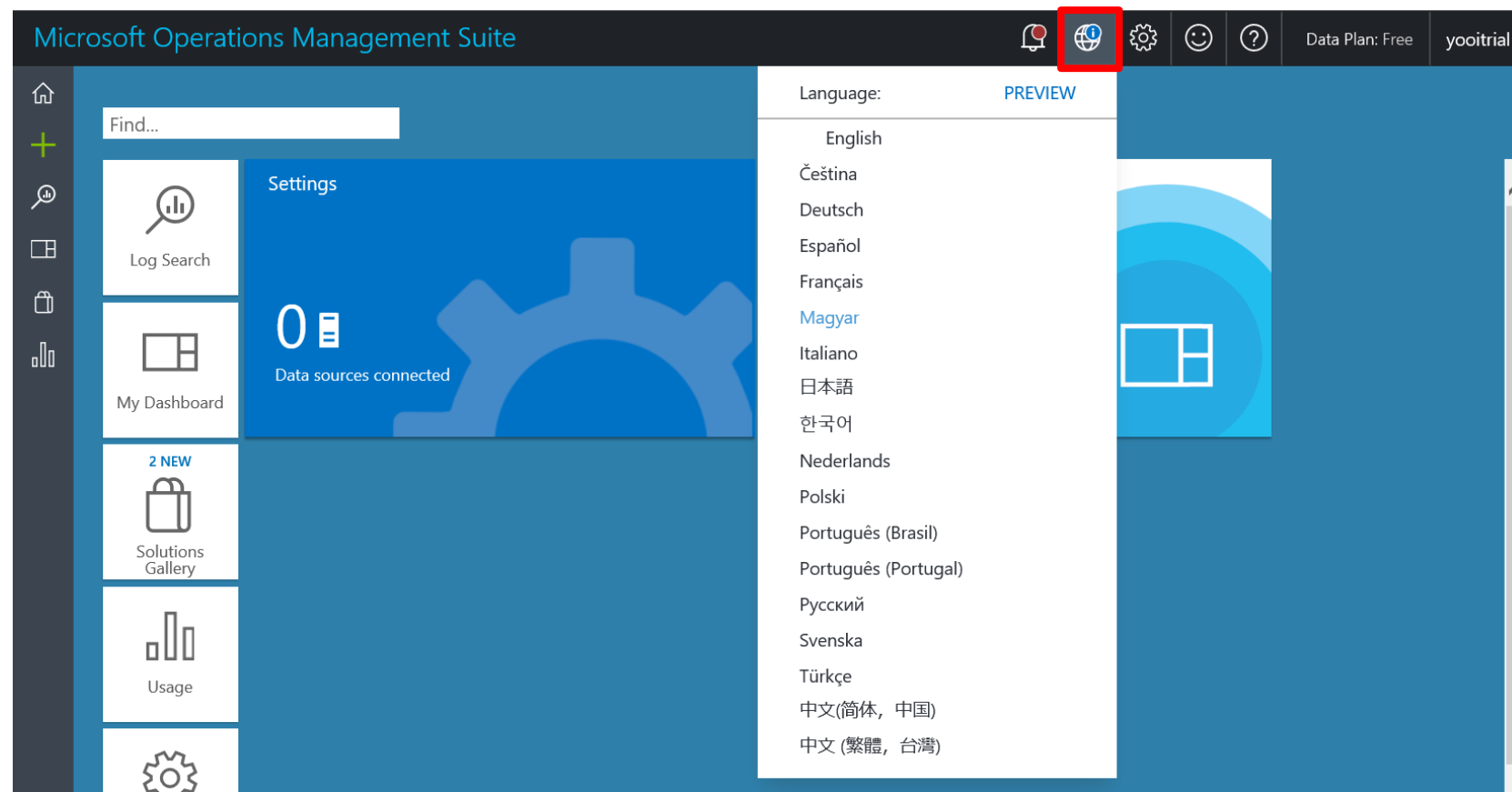
無償OMSワークスペースの作成(3)

- 以下のようなOMSポータルが表示される。
- 右上の「Data Plan」が「Free(無償)」になっていることを確認する。



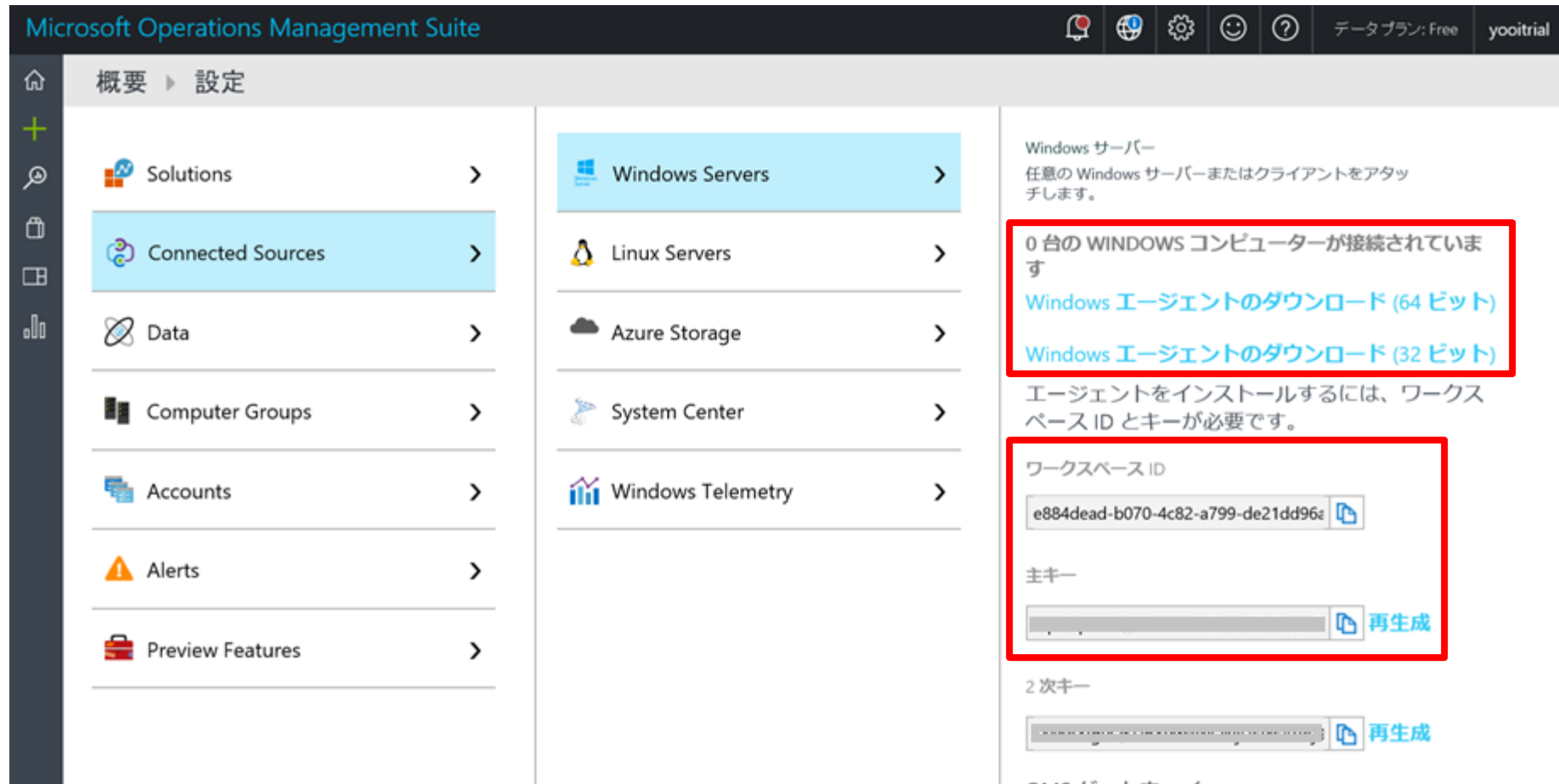
OMSワークスペースの言語設定

- ポータルの表示言語を変更するには、画面右上の地球儀のアイコンをクリックする。



WindowsサーバーのOMSへの接続(1)

- ポータル左側(もしくは右上)の歯車の「設定」アイコンをクリックする。
- 「Connected Source」→「Windows Server」からWindowsエージェントをダウンロードする。
- 「ワークスペースID」と「主キー」をメモしておく。



WindowsサーバーのOMSへの接続(2)

- ダウンロードしたMMASetup-AMD64.exe(もしくはMMASetup-i386.exe)を実行する。
- 「Azureログ分析(OMS)にエージェントを接続する」をチェックする。また、ポータル画面で表示されていたワークスペースIDとワークスペースキーを入力する。
- 「Microsoft Updateを使用して更新をチェックする」をチェックすることで、Microsoft Update経由でOMSエージェントの更新ができるようになる。
- それ以外はすべて既定通りで良い。

Microsoft Monitoring Agent のセットアップ

エージェントのセットアップ オプション

この Microsoft Monitoring Agent のインストールについてセットアップ オプションを指定します。

☒ IntelliTrace ログのローカル コレクションを有効にする (.NET Framework 3.5 以降が必要) (E)
高度なアプリケーション診断データをローカルの iTrace ファイルに収集する PowerShell インターフェイスがインストールされます。

☒ **Azure ログ分析 (OMS) にエージェントを接続する(A)**
Microsoft Azure ログ分析 (OMS) サービスにエージェントを接続して、エージェントが登録の際に使用するワークスペースを選択できるようにします。詳細については、<https://www.microsoft.com/oms> を参照してください。

☐ エージェントを System Center Operations Manager に接続する(C)
エージェントが System Center Operations Manager に接続され、このエージェントが監視に参加する管理グループを指定できるようになります。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

Microsoft Monitoring Agent のセットアップ

Azure ログ分析

Azure ログ分析ワークスペースにエージェントを接続します。

ワークスペース ID(I): 1794fb8b-4bb1-4386-a221-7a58d3767073

ワークスペース キー(K):

Azure Cloud: Azure Commercial

ワークスペース ID とワークスペース キーは、Azure ログ分析ポータル (<https://www.microsoft.com/oms/>) で入手できます。

HTTP プロキシ構成を指定するには、[詳細設定] をクリックしてください。

詳細設定(D)

[次へ] をクリックすると、このプロパティは Azure ログ分析サービスによって検証されます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

Microsoft Monitoring Agent のセットアップ

Microsoft Update

Microsoft Update を使用すると、コンピューターをセキュリティで保護された最新の状態に保つことができます。

Microsoft Update は、この製品や Windows を含む Microsoft 製品に対して、セキュリティの更新や重要な更新を提供します。自動更新を設定しておく、更新が自動的に配信されます。また、Microsoft Update Web サイトから直接更新を行うこともできます。

☒ Microsoft Update を使用して更新をチェックする (推奨)(U)

☐ Microsoft Update を使用しない(I)

Microsoft Update のよく寄せられる質問を参照してください。
(<http://update.microsoft.com/microsoftupdate/v6/default.aspx?ln=ja>)

プライバシーに関する声明を参照してください。
(<http://update.microsoft.com/microsoftupdate/v6/privacy.aspx?ln=ja>)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

LinuxサーバーのOMSへの接続

- 「Connected Source」→「Linux Server」の「LINUX用エージェントのインストールとオンボード」のコマンドをコピーして、OMSに接続したいLinuxにSSH接続してこれをペーストし、root権限で実行する。
- これにより、エージェントのダウンロードとインストール、およびOMSへの接続が行われる。

Microsoft Operations Management Suite

概要 ▶ 設定

Solutions >

Connected Sources >

Data >

Computer Groups >

Accounts >

Alerts >

Preview Features >

Windows Servers >

Linux Servers >

Azure Storage >

System Center >

Windows Telemetry >

Linux サーバー
任意の Linux サーバーまたはクライアントをアタッチします。

0 台の LINUX コンピューターが接続されています

Linux 用エージェントのダウンロード
エージェントをインストールするには、ワークスペース ID とキーが必要です。

ワークスペース ID
e884dead-b070-4c82-a799-de21dd96e [複製]






主キー
[複製] 再生成

2 次キー
[複製] 再生成





LINUX 用エージェントのインストールとオンボード
wget https://raw.githubusercontent.com/Microsoft/OMS-Agent [複製]






OMSワークスペースへの接続状況確認

- OMSワークスペースに何台のWindows/Linuxサーバーが接続されているかは、下記の設定画面から確認できます。
- 初めてエージェントをインストールしてから、OMSワークスペースにログが送信されて、ノードとして認識されるまでには、数十分～1時間程度かかります。ソリューションによっては、1日以上かかるものもあります。







概要 ▶ 設定

 Solutions >	 Windows Servers >	Windows サーバー 任意の Windows サーバーまたはクライアントをアタッチします。
 Connected Sources >	 Linux Servers >	8 台の WINDOWS コンピューターが接続されています

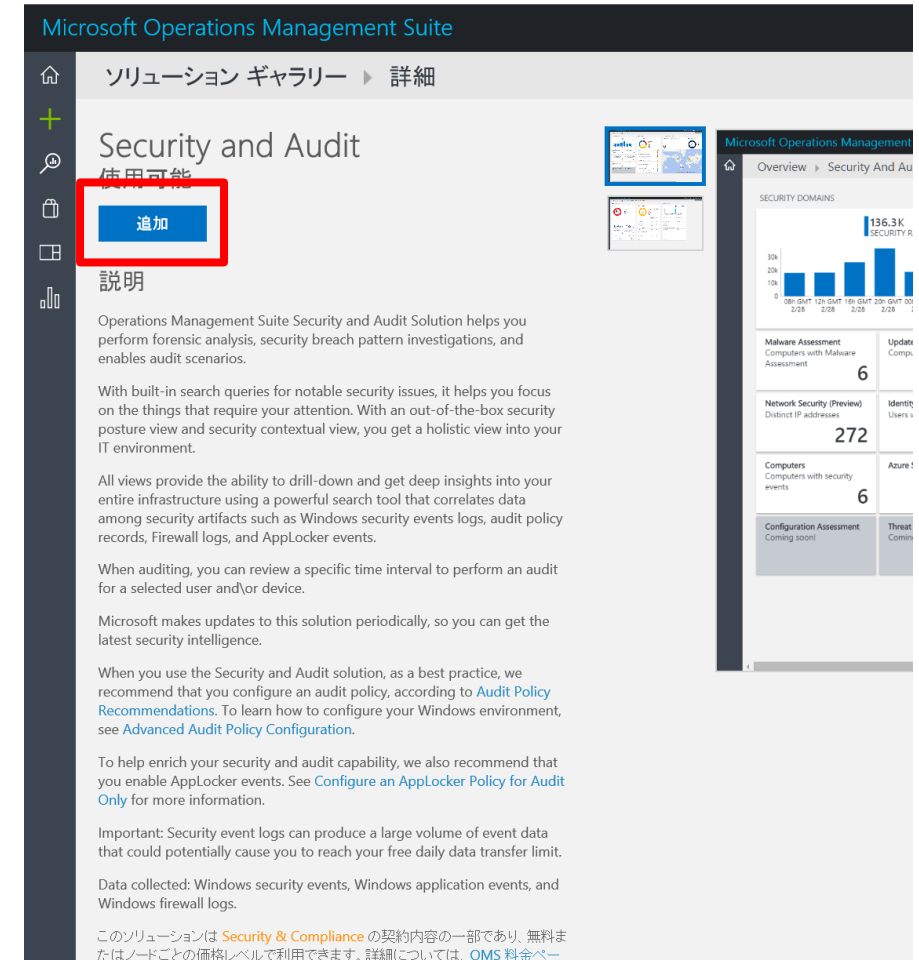
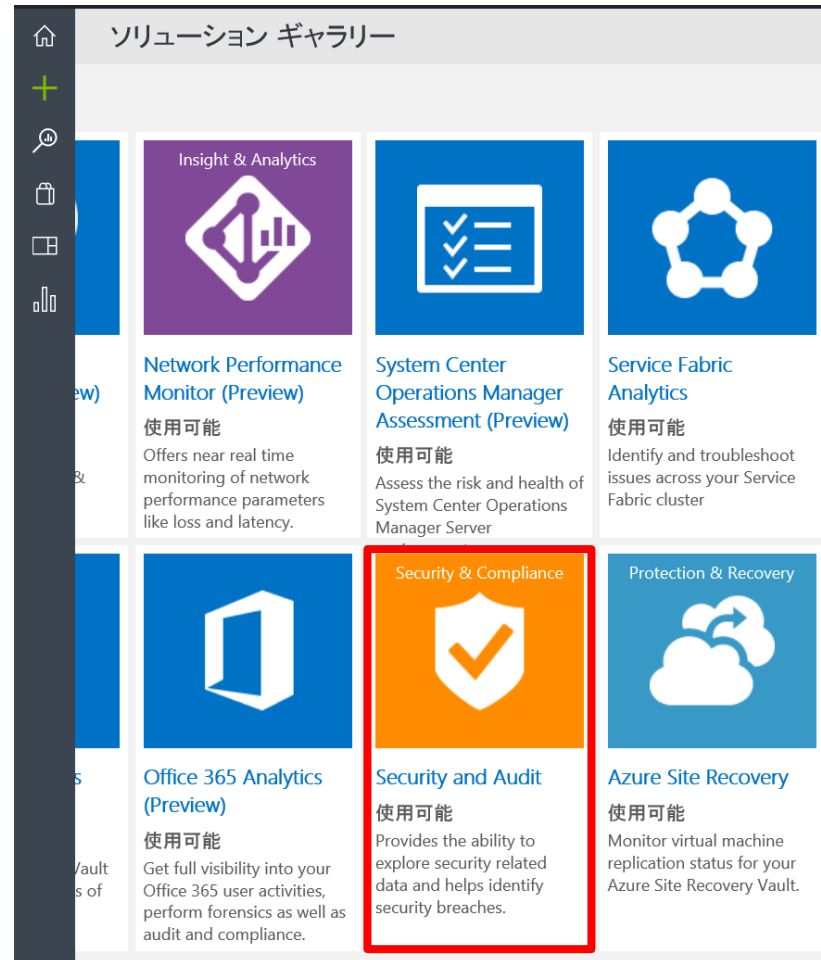
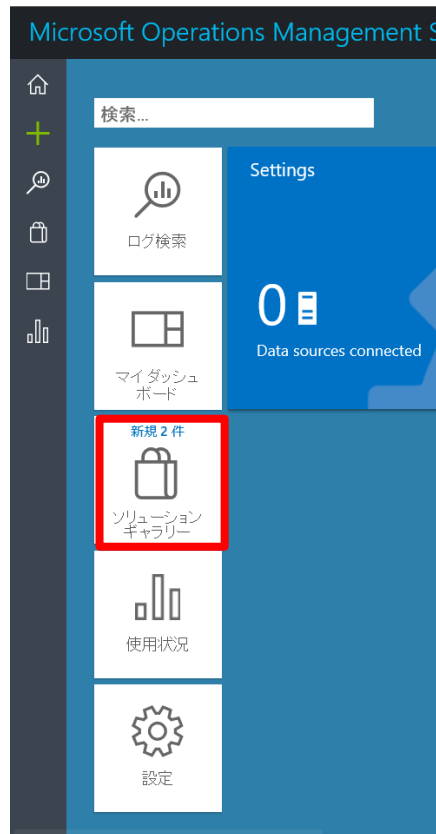


概要 ▶ 設定

 Solutions >	 Windows Servers >	Linux サーバー 任意の Linux サーバーまたはクライアントをアタッチします。
 Connected Sources >	 Linux Servers >	1 台の LINUX コンピューターが接続されています

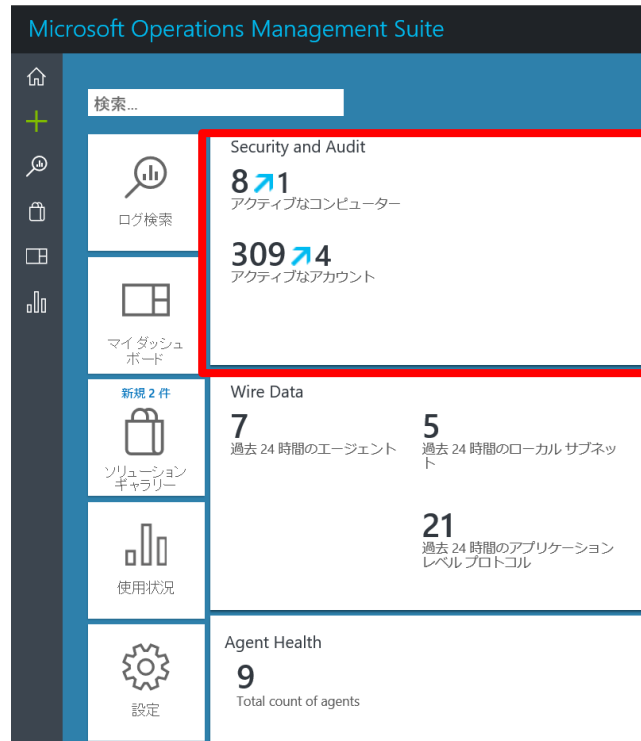
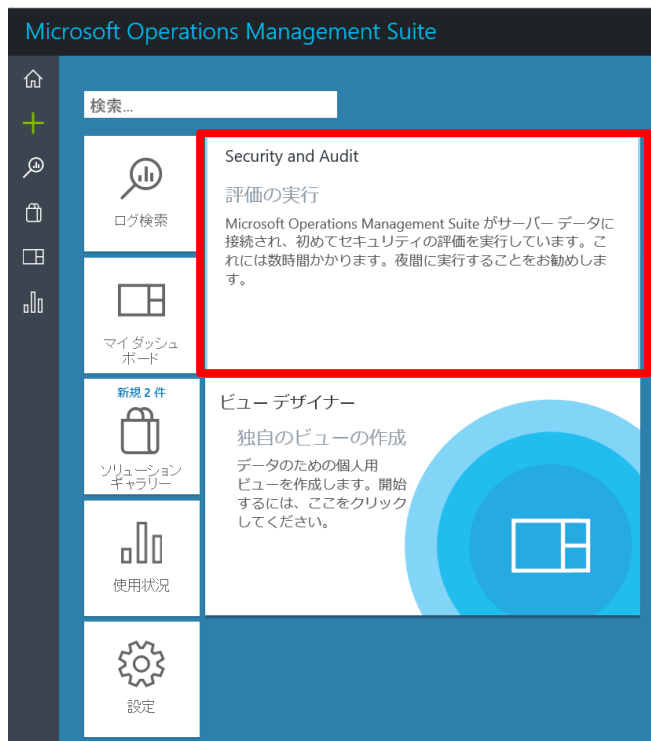
“Security and Audit”ソリューションの追加(1)

- ・ポータルが表示言語を変更するには、画面右上の地球儀のアイコンをクリックする。



“Security and Audit”ソリューションの追加(2)

- 「Security and Audit」ソリューションのタイルがOMSポータルに追加される。(表示されない場合は、ブラウザをリロードする。)
- データ収集が完了すると、タイルに数字が表示され、このタイルをクリックすることで中身のデータを参照することができるようになる。



その他のソリューションの追加

- Security and Auditと同様の手順で、その他のソリューションも追加できる。
- ただし、Automation & Controlを追加する際には、Automationアカウントの構成が要求されるので、「ワークスペースの構成」をクリックし、指示に従ってAutomationアカウントを作成する。

